

23. 自分らしく生きるために「性の多様性」

子どもたちはどの子どもみんなと一緒に楽しく勉強や学校生活を送りたいのです。勉強や友だち関係で悩んでいる子ども、性のことで悩んでいる子ども同じことです。特に、性の悩みは見えにくいことを認識しておきましょう。

「13人に1人」が「さまざまな性」について悩んでいる子がいると言われています。そんな子どもたちの中には誰にも打ち明けられず、相談もできずに日々暗く沈んでいる子どもも多いでしょう。気持ち悪がられたらどうしようと怖いのです。そんな子どもたちに寄り添えるのはあなたです。早く性の悩みから解放してあげましょう。もちろん、最近さまざまな性への配慮がなされていますが、さらに学校全体で発達段階に配慮して性の多様性についてのカリキュラムを作成して実践しましょう。と、同時に保健の先生やカウンセラーの方と共に個別支援が欠かせません。どうか、あなたがよく理解者であってください。

指導者	子ども	学び
「両性」から 「両性または同性」に パーソナルシップ制度 配慮を特別視しない 職業選択の自由 結婚相手の自由 「両性」からの解放 生徒会の男女割当てなし 髪型の弾力化 技家・体育等の共学 制服の自由選択制 校則の全面見直し	性の多様性 自分らしく生きる ありのままに生きる (中) 好きになる性 あの娘→あの人の表現する性 性の表現は自分らしさで(言葉・ファッション) 性は自分で決められる	DVD「みんなで考えるLGBTs」シリーズ①～③計64分 「SOGI(ソジ)」って何? セクハラ・DV学習 「ピンクシャツデー」から学び 当事者・支援者インタビュー
多目的トイレの使用 宿泊・入浴の工夫 体操服の自由化 水着の自由化 更衣の場所 検診の配慮 持ち物の色の自由 混合名簿・混合整列	心の性 性的少数者を特別視しません 「女のくせに」→「だったら何!」 (小) からだの性 性の特性を知る それぞれのよさを知る 男子・女子に分けません	「LGBTs」って何? 「王さまと王さま」 「いろいろかぞく」 「タンタンタンゴは パパふたり」 「わたしはあかねこ」
「さん」呼び 男女色分けなし	(幼) 「女の子はこっち、男の子はあっち」 →「みんなこっちにおいで」	トイレのつかいかた

「LGBTQ+」性は人によって いろんなかたちがあっている L レスビアン(女性同性愛者) G ゲイ(男性同性愛者) B バイセクシャル(両性愛者) T トランスジェンダー(身体の性に違和感) Q クエスチョニング(性を決定できにくい人)	「SOGI(ソジ)」すべての人が 性のあり方を自分で決められる Sexual Orientation(性的指向) Gender Identity(性自認) SOGIはすべての人にかかわっていて 誰もが大切にされる人権です 性への配慮は特別ではなく当たり前!
---	---

虹は7色だけではありません。たくさん色(個性)が認め合い共生しています
マイノリティーの子どもたちが元気で明るいことは、すべての友だちが元気で明るい集団です

教職員のための参考資料『ありのままに自分らしく』互いに認め合える学校園所をめざして
～性の多様性について考える～(授業書) 宝塚市教育委員会発行 <令和6年(2024年)4月発行>